

令和8年度から妊娠28週～36週の妊婦の方を対象に

RSウイルス感染症に対する 母子免疫ワクチンの接種を開始します

RSウイルス感染症は乳幼児が感染すると重症化することがあります

接種開始日

令和8年4月1日（水）から

当日受付時間

平日 8：45～11：30まで

受付場所

産婦人科外来

接種料金

30,000円（税込み）

接種時期

妊娠28週～36週頃



※接種希望の方は、接種の1週間前までにお問合せください。

接種費用については、市町村において助成がある場合がありますので、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

RSウイルスとは

RSウイルスは小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、2歳までにほぼすべての乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。

感染すると、発熱、鼻水、咳などの症状が出現し、初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、重症化することがあります。

妊婦がワクチンを接種することにより母体内でRSウイルスに対する抗体の一部を受け取って生まれてくるため、赤ちゃんのRSウイルス感染症に対する予防効果が期待されます。

接種については、産婦人科外来にご相談ください。